

⑪ 公開特許公報 (A) 平4-189384

⑯ Int. Cl. ⁵	識別記号	序内整理番号	⑰ 公開 平成4年(1992)7月7日
A 63 F 7/02	3 3 7	6935-2C	
	3 2 8	6935-2C	
	3 5 4	6935-2C	
G 07 F 7/08	L	8711-3E	G 07 F 7/08 L M G J S
9/00		8111-3E	
		8111-3E	

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全 21 頁)

④ 発明の名称 遊技用管理設備装置

② 特願 平2-318752

② 出願 平2(1990)11月22日

⑦ 発明者 鶴川 詔八 群馬県桐生市相生町1丁目164番地

⑦ 出願人 株式会社三共 群馬県桐生市境野町6丁目460番地

⑦ 代理人 弁理士 深見 久郎 外2名

明細書

1. 発明の名称

遊技用管理設備装置

2. 特許請求の範囲

所定の会員向けの会員用記録媒体を発行する会員用記録媒体発行センターと、

遊技機が設置された遊技場と、

遊技者が前記遊技機により遊技を行なって獲得した獲得有価価値を特定可能な情報を前記会員用記録媒体に記録して遊技者に付与する価値記録手段と、

商品やサービス等の売買対象を販売する販売店であって、遊技者が自己の会員用記録媒体で特定される前記獲得有価価値を使用して前記売買対象と景品交換することが可能な会員用記録媒体取扱店とを含む、遊技用管理設備装置。

3. 発明の詳細な説明

[産業上の利用分野]

本発明は、遊技用管理設備装置に関し、詳しくは、遊技者が遊技場に設置された遊技機により遊

技を行なって獲得した獲得有価価値を使用して景品交換可能な遊技用管理設備装置に関する。

[従来の技術]

この種の遊技用管理設備装置において、従来から一般的に知られているものに、たとえば、遊技者が遊技の結果獲得した賞品玉等の獲得有価価値を遊技場に設置されている所定の場所(たとえば景品交換所)で読み取ってもらい、その読み取った有価価値の範囲内で遊技者が希望する商品等の景品に交換してもらうというシステムがあった。

[発明が解決しようとする課題]

しかし、この種の従来のものにおいては、遊技者がいくら多くの有価価値を獲得したとしても、遊技場が仕入れた商品やサービス等の非常に限られた範囲内でしか景品を選ぶことができず、遊技者の希望する景品が存在しない場合が多くあった。

この問題を解決するべく、遊技場で取扱う商品やサービス等の景品の種類を増やした場合には、その景品を陳列する広い場所を要することになり、その分遊技機を設置する場所が犠牲になってしま

い、遊技場の経営が悪化し遊技場に経営面での大きな負担を強いいる不都合が生じる。

本発明は、係る実情に鑑み、遊技場の経営面での負担を極力抑えることができながらも、遊技者が獲得した獲得有価価値を使用して景品交換を行な際に多くの種類の景品の中から遊技者が希望するものを選択入手できるようにすることを目的とする。

【課題を解決するための手段】

本発明に係る遊技用管理設備装置は、所定の会員向けの会員用記録媒体を発行する会員用記録媒体発行センターと、

遊技機が設置された遊技場と、

遊技者が前記遊技機により遊技を行なって獲得した獲得有価価値を特定可能な情報を前記会員用記録媒体に記録して遊技者に付与する価値記録手段と、

商品やサービス等の売買対象を販売する販売店であって、遊技者が自己の会員用記録媒体で特定される前記獲得有価価値を使用して前記売買対象

— 3 —

全体の概略を示すシステムブロック図である。

図中103は玉貸カード発行会社であり、CPU, RAM, ROM等を内蔵するホール別売上集計用の集中管理コンピュータ111が設置されている。この玉貸カード発行会社103からは玉貸カード134(第3B図参照)が発行されて各遊技場100, 101…に出荷される。なお、玉貸カード134は玉貸カード販売機4で販売する時に情報を書込むようにしてもよいし、予め情報を書込んでおくようにしてもよい。各遊技場100, 101…と玉貸カード発行会社103の集中管理コンピュータ111とは各遊技場100, 101…に設置されているターミナルボックス109と通信回線により接続されており、情報の伝達が可能に構成されている。

なお、遊技場101については、遊技場100と同様の構成を有しているために、ここでは、詳細な説明および図示を省略する。

図中104は会員用記録媒体発行センターの一例の景品カード発行会社であり、CPU, RAM,

— 5 —

と景品交換することが可能な会員用記録媒体取扱店と、を含むことを特徴とする。

【作用】

本発明によれば、会員用記録媒体発行センターから発行された会員用記録媒体に遊技者が獲得した獲得有価価値を特定可能な情報が記録され、その獲得有価価値を特定可能な情報が記録された会員用記録媒体を取扱う会員用記録媒体取扱店でその会員用記録媒体の所持者である遊技者が商品やサービス等の売買対象と景品交換することが可能となる。

すなわち、会員用記録媒体取扱店は比較的多くの商品やサービス等の売買対象を販売しているのであり、その結果、遊技者は自己の獲得有価価値を使用して多くの種類の売買対象から自己の希望する景品と景品交換できる。

【発明の実施例】

次に、本発明の実施例を図面に基づいて説明する。

第1図は、本発明に係る遊技用管理設備装置の

— 4 —

ROM等を内蔵する集中管理コンピュータ112が設置されている。この集中管理コンピュータ112と各遊技場100, 101…に設置されているターミナルボックス110とが通信回線により接続されており情報の伝達が可能に構成されている。図中102は遊技場100のための景品交換所であり、ターミナルボックス113を介して通信回線により前記集中管理コンピュータ112と接続されており、情報の伝達が可能に構成されている。図中105, 106, 107は、景品カード発行会社104に加盟している会員用記録媒体取扱店の一例の加盟店であり、それぞれに、CPU, RAM, ROMを内蔵する加盟店用管理コンピュータ119, 120, 121が設置されている。それらの加盟店用管理コンピュータ119, 120, 121と景品カード発行会社の集中管理コンピュータ112とが通信回線により接続されており、情報の伝達が可能に構成されている。なお、加盟店107には、前記玉貸カード発行会社103から発行された玉貸カード134を顧客に

— 6 —

販売するための玉貸カード販売機 122 が設置されており、その玉貸カード販売機 122 と景品カード発行会社 104 の集中管理コンピュータ 112 とがターミナルボックス 123 を介して通信回線により接続されており、情報の伝達が可能に構成されている。さらに、玉貸カード販売機 122 と玉貸カード発行会社 103 の集中管理コンピュータ 111 とがターミナルボックス 124 を介して通信回線により接続されており、情報の伝達が可能に構成されている。

図中 108 は銀行であり、CPU, RAM, ROM 等を内蔵するコンピュータ等からなる中央装置 117 が設置されている。この中央装置 117 はデータベース 118 を含み、このデータベース 118 には、各遊技場 100, 101 や玉貸カード発行会社 103, 景品カード発行会社 104, 各加盟店 105, 106, 107 等の口座およびそれらの口座に預金されている預金額等が記憶されている。データベース 118 内に図示された記号Ⓐ, Ⓡ, Ⓢ, Ⓣ, Ⓤ, Ⓥ, Ⓦ は、それぞれ玉

- 7 -

の残額が記録された玉貸カード 134 が遊技者に払出されるとともに、パチンコ機 2 の遊技結果に伴って獲得した獲得有価価値の一例の景品玉が利用者に払出される。利用者は、その獲得した景品玉を景品玉計数機 7 に投入し、その投入玉数が記録された玉数カード 19 (第 3A 図参照) を入手する。遊技者は、この入手した玉数カードを遊技場 100 に設置されているカウンタ 114 の玉数カード読み取り装置 5 に挿入することにより、その玉数が読み取られてその玉数の範囲内でタバコやチヨコレート等の一般景品や特種景品 138 (第 3D 図参照) との交換が可能となる。

遊技場 100 内に設置された玉貸カード販売機 4, カード処理機 3, パチンコ機 2, 景品玉計数機 7 ならびに玉数カード読み取り装置 5 はそれぞれホール用管理コンピュータ 6 に接続されており、情報の伝達が可能に構成されている。このホール用管理コンピュータ 6 は、CPU, RAM, ROM 等を内蔵をしており、玉貸カード販売金額、玉貸カード使用金額、パチンコ機 2 の利益球数や不利

貸カード発行会社 103, 遊技場 100, 遊技場 101, 加盟店 105, 加盟店 106, 加盟店 107, 景品カード発行会社 104 のそれぞれの口座を示し、図示された矢印は、ある口座から他の口座に矢印方向に金が移ることを意味している。

玉貸カード発行会社 103 から遊技場 100 に出荷された玉貸カード 134 は玉貸カード販売機 4 により利用者 (遊技者) に販売される。利用者は代金または後述する会員用記録媒体の一例の景品カード 136 (第 3C 図参照) を玉貸カード販売機 4 に挿入することにより所定の金額が記録された玉貸カードが交付される。利用者は遊技場に設置されている複数の遊技機の一例のパチンコ機 2 の中から遊技してみたいパチンコ機 2 に対応したカード処理機 (カード玉貸機) 3 に前記玉貸カードを挿入する。そしてその玉貸カードに記録されている金額を使用することによりパチンコ機 2 に遊技玉が払出されて遊技が可能となる。そして遊技が終了すれば、遊技に使用した金額だけ玉貸カードに記録されている金額が減算更新されてそ

- 8 -

益球数、景品玉計数器 7 に投入された景品玉の個数データ、玉数カードを使用しての景品交換額情報等の遊技場で発生する種々の情報を集中管理する。なお、景品玉計数器 7 によって発行された玉数カード 19 は、当該遊技場 100 でかつ当日限りという条件で景品交換することが可能なものである。なお、この玉数カード 19 を省き、遊技者が景品玉を投入して直接景品カード 136 にその投入玉に相当する有価価値を加算更新してもよく、さらには直接特殊景品 138 や一般景品を払出してもよい。

遊技場 100 に設置されている玉貸カード販売機 4 の景品カード使用による売上額 (販売額) に関する情報がターミナルボックス 110 を介して通信回線により景品カード発行会社 104 の集中管理コンピュータ 112 に伝送される。なおこのターミナルボックス 110 と集中管理コンピュータ 112 とは必ずしもオンラインにより接続する必要はなく、玉貸カード売上額を集計してその集計金額を記載した伝票等を作成し、その伝票等に

- 9 -

- 10 -

よるオフラインにより玉貨カード販売額を集中管理コンピュータ112に入力してもよい。

利用者は景品玉計数器7から払出された玉数カード19を使用して景品カード136の残額を増額更新してもらいたい場合には、利用者は景品交換所102に玉数カード19を持参し、カウンタ115に設けられている玉数カード読取装置65にその玉数カード19を挿入して読み取らせる。さらに利用者は自己が保有する景品カード136を景品処理装置（景品カード処理器）9に挿入する。すると、挿入した玉数カードに記録されている玉数の範囲内で景品カード136の残額が増額更新されてその景品カード136が利用者に返却される。なお、利用者がいまだに景品カード136を所持していない場合には、新規発行する必要があり、その場合には、カウンタ115により利用者の住所、氏名、電話番号等の必要事項を記載してもらい、挿入された玉数カード19の玉数の範囲内で金額を景品カード136に記録してその景品カード136を利用者に新規発行する。利用者に

— 11 —

（たとえば105）に伝送されてきた景品番号、景品個数と利用者の住所、氏名、電話番号等を伝送する。すると、送信されてきた景品番号に対応する商品やサービス等の景品が加盟店105から利用者に直送される。また、利用者が景品カード136を挿入して希望する景品番号を入力した段階でその景品番号の景品に相当する金額だけ挿入された景品カード136の残額が減算更新され、減算更新された後の景品カード136が利用者に返却される。一方、利用者が希望して入力された景品番号に相当する景品が前記加盟店105で品切れとなっていた場合には、利用者の住所に次に近い加盟店106からその希望する景品を利用者に直送するようにしてもよい。

また、景品処理装置（景品カード処理器）9に、特殊景品を払出す機能を設けてよい。その場合には、利用者が景品カード136を挿入し、その景品カード136に記録されている残額の範囲内で特殊景品138（第3D図参照）が利用者に払出される。景品交換所102には特殊景品交換装

— 13 —

記載してもらった住所、氏名、電話番号等の必要事項はターミナルボックス113等を介して景品カード発行会社104に送信されるかあるいは景品カード発行会社104において入力される。

一方、景品交換所102のカウンタ115には、景品カード発行会社104に加盟している各加盟店105、106、107が販売している商品やサービス等の種々の売買対象からなる景品が掲載されたカタログが用意されており、利用者はそのカタログを見て自己の欲する商品やサービス等の景品を選択する。そして、自己の欲する景品を景品カード136を用いて景品交換したい場合には、利用者は自己の景品カード136を景品処理装置（景品カード処理器）9に挿入し、カタログで選んだ自己の欲する景品を特定するコード（景品番号）やその個数等を入力する。するとその景品番号がターミナルボックス113を介して景品カード発行会社104の集中管理コンピュータ112に伝送され、集中管理コンピュータ112では利用者の住所に近い加盟店を検索してその加盟店

— 12 —

置8が設けられており、利用者が前記特殊景品をこの特殊景品交換装置8に挿入することによりその挿入された特殊景品138に相当する金額の現金が利用者に払出される。なお、現金の払出しの代わりに利用者の景品カード136の残額を増額更新するようにしてもよい。この特殊景品交換装置8はターミナルボックス113を介して景品カード発行会社104の集中管理コンピュータ112に接続されており、特殊景品138の出庫額が集中管理コンピュータ112に伝送されるように構成されている。

一方、カタログによる景品交換ではなく実際にその景品を目で見て確かめて購入したいという利用者は、景品カード136を持参して加盟店106に行き、その景品カード136を加盟店106に設置されている景品処理装置9に挿入し、加盟店106で販売されている商品やサービス等の売買対象からなる景品で自己の欲するものの種類や個数を景品処理装置9に入力する。するとその入力された景品に相当する金額が景品カード136

— 14 —

の残額から減算されて減算された後の景品カード 136 が利用者に返却される。このようにして利用者は目で実際に景品を見て確かめて入手することもできる。なお、景品カード発行会社 104 の集中管理コンピュータ 112 と各加盟店 105, 106, 107 に設置されている加盟店用管理コンピュータ 119, 120, 121 は必ずしもオンラインにより接続する必要はなく、景品交換所 102 から送信されてきた景品番号や景品個数ならびにその景品番号に対応する利用者の住所、氏名、電話番号等を集計して伝票等に記入し定期的に一括してオンラインにより各加盟店 105, 106, 107 に送るようにしてよい。

特殊景品を現金に交換する特殊景品交換装置 8 は銀行 108 にも設置されており、利用者は自己の所有する特殊景品を銀行 108 に持参し、その特殊景品を銀行 108 に設置されている特殊景品交換装置 8 に挿入して現金に交換することも可能である。この銀行 108 に設置されている特殊景品交換装置 8 はターミナルボックス 116 を介して

- 15 -

玉貸カード金額の合計と遊技場 100, 101 で玉貸カードが使用された使用金額合計との差額情報がデータベース 118 に伝送されてくる。さらに、加盟店 107 において販売された玉貸カード金額の合計（カード代金）情報が集中管理コンピュータ 111 からデータベース 118 に伝送されてくる。

データベース 118 では、前記各種伝送されてきた情報に基づいて、各口座間で図示矢印で示した方向に金を移動させる。すなわち、玉貸カード販売会社の口座Ⓐと各遊技場の口座Ⓑ、Ⓑとの間で玉貸カードの販売金額の合計（カード代金）とカード処理機 3 によって使用された玉貸カードの使用金額合計との差額だけ金を移動させる。また、加盟店 107 における玉貸カードの販売金額の合計（カード代金）から手数料を差引いた金額が加盟店 107 の口座Ⓑから玉貸カード販売会社 103 の口座Ⓐに移動する。これによって、加盟店 107 は差引いた手数料分利益を得ることができる。遊技場 100, 101 に設けられている玉貸カ

- 17 -

景品カード発行会社 104 の集中管理コンピュータ 112 に通信回線で接続されており、特殊景品 138 の交換額がターミナルボックス 116 を介して集中管理コンピュータ 112 に伝送されるように構成されている。

景品カード発行会社 104 の集中管理コンピュータ 112 と銀行 108 のデータベース 118 とが通信回線により接続されており、集中管理コンピュータ 112 からデータベース 118 に次のような情報が伝送される。すなわち、景品交換所 102 に設けられている景品処理装置（景品カード処理器）9 によって増額更新された景品カードの増額更新額情報、遊技場 100, 101 に設けられている玉貸カード販売機 4 を利用して景品カードにより玉貸カードが販売されたその玉貸カード売上額情報、各加盟店 105, 106, 107 での景品カードを使用した景品の売上額情報（景品交換額情報）等が伝送される。一方、玉貸カード販売会社 103 の集中管理コンピュータ 111 からは、遊技場 100, 101 において販売された

- 16 -

ド販売機 4 を利用して景品カード 136 により販売された玉貸カード 134 の売上合計金額から手数料を差引いた金額が景品カード発行会社 104 の口座Ⓐから各遊技場 100, 101 の口座Ⓑ、Ⓑに移動する。各遊技場 100, 101 のそれぞれの景品交換所 102 に設けられている景品処理装置（景品カード処理器）9 によって増額更新された景品カードの増額更新額と各遊技場 100, 101 が仕入れた特殊景品 138 の仕入代金に対し手数料を上乗せした金額の合計が各遊技場 100, 101 の口座Ⓑ、Ⓑから景品カード発行会社 104 の口座Ⓒに移動する。なお、実際には、口座ⒶとⒸ、Ⓑとの間では、カード増額更新額および特殊景品仕入代金（手数料上乗せ）と売上額（手数料を差引く）とが相殺された金額だけが移動するようになる。さらに、各加盟店 105, 106, 107 での景品カード 136 を用いた景品の売上額（景品交換額）から手数料を差引いた金額が景品カード発行会社 104 の口座Ⓒから各加盟店 105, 106, 107 の口座Ⓓ、Ⓓ、Ⓓに

- 18 -

移動する。

第2図は、遊技場および景品交換所の要部を示す概略構成図である。

遊技場100に設置されている玉貸カード販売機4は、紙幣投入口26が設けられており、利用者（遊技者）が紙幣を紙幣投入口26から投入することによりその投入された紙幣が紙幣識別機27で識別され、偽札等の不適正な紙幣であった場合には利用者に返却されるが適正な紙幣であった場合には紙幣収納部28内に取込まれる。そして投入紙幣に相当する金額が金額表示器23により表示され、その表示額の範囲内で販売カード選択ボタン36を選択操作する。玉貸カード19には、たとえば、1000円、2000円、3000円、5000円、10000円の5種類の金額のカードがあり、販売カード選択ボタン36を選択して押圧操作することにより前記5種類の玉貸カード19のうち希望する玉貸カード19を指定することができる。この販売カード選択ボタン36を押圧することにより、その押圧操作によって指定さ

- 19 -

が行なわれる。投入カードが適正なカードであった場合にはその投入カードに記録されているカード情報が景品カード識別機25により読み取られ、次に利用者が暗証番号を暗証番号入力キー29から入力する。そしてその入力された暗証番号が正しい番号であった場合には投入された景品カード136に記録されている残額すなわち景品金額が金額表示器23により表示される。利用者はこの金額表示器23により表示された金額の範囲内で販売カード選択ボタン36を選択操作し、前述と同様にして希望する金額の玉貸カード134を購入することが可能となる。そして、希望する金額の玉貸カード134を購入した後の景品カード136の残り金額すなわち景品残金額が金額表示器23により表示され、投入されている景品カードの残額をその金額表示器23により表示している景品残金額に更新してその更新された後の景品カードが景品カード投入口24から利用者側に返却される。なお、図中20は処理器番号表示部でありこの玉貸カード販売機4の番号が表示される。

- 21 -

れた金額の玉貸カード19を玉貸カード収納部32から取出してその取出された玉貸カード19が選択指定された金額の玉貸カード19であるか否かを玉貸カード識別機31により識別し、選択された金額の玉貸カードであると識別された場合には玉貸カード払出口30からその玉貸カード19が払出される。その後、釣銭がある場合には釣銭紙幣払出装置34が作動して釣銭紙幣払出口33から釣銭が利用者に払出される。なお図中40は制御部であり、玉貸カード販売機4を制御するためのマイクロコンピュータ等から構成されている。

この玉貸カード販売機4は紙幣等の貨幣の投入ばかりでなく景品カード136を使用しても玉貸カード19の販売が可能である。その場合には、景品カード136を景品カード投入口24に投入する。すると景品カード識別機25により投入された景品カード136が適正カードであるか否かを識別し、不適正カードであった場合には投入カードを利用者に返却したり不正カードが投入されたことを遊技場の係員に報知したりする異常処理

- 20 -

また21は販売中表示器、22は販売中止表示器であり、この玉貸カード販売機4が玉貸カード134を販売している最中では販売中止表示器22が消灯して販売中表示器21が点灯表示される。逆にこの玉貸カード販売機4が販売中でなかった場合には販売中表示器21が消灯し、販売中止表示器22が点灯表示される。図中37は投入紙幣充満表示部であり、紙幣投入口26から投入された紙幣により紙幣収納部28が満杯になりそれ以上紙幣が投入できない状態になった場合にこの投入紙幣充満表示部37が点灯または点滅表示され、投入紙幣が満杯になった旨を遊技場の係員に表示できるように構成されている。38は釣銭紙幣欠乏表示部であり、釣銭払出装置34によって利用者に払出すために貯留している釣銭紙幣が欠乏した場合にこの釣銭紙幣欠乏表示部38が点灯または点滅表示し、その旨を遊技場の係員に報知できるように構成されている。39は玉貸カード欠乏表示部であり、遊技者に販売するために貯留している玉貸カード134が欠乏した場合にこの玉貸

- 22 -

カード欠乏表示部 3 9 が点灯または点滅表示され、その旨を遊技場の係員に報知できるように構成されている。

この玉貸カード販売機 4 によって販売された玉貸カード 1 3 4 を使用して利用者が遊技を行なう場合には、遊技場 1 0 0 の遊技機設置島に設置されているカード処理機（カード玉貸機）3 の玉貸カード投入口 1 2 に玉貸カード 1 3 4 を挿入する。このカード処理機（カード玉貸機）3 は、設置島 1 に複数台設置されている各パチンコ機 2 に隣接して設けられており、それぞれの隣接するパチンコ機に対応するものである。ゆえに、たとえば図示中央のパチンコ機 2 によって遊技を行ないたい場合には図示中央のパチンコ機の向かって左側に隣接しているカード処理機（カード玉貸機）3 の玉貸カード投入口 1 2 に玉貸カード 1 3 4 を投入する必要がある。玉貸カード投入口 1 2 に玉貸カード 1 3 4 を投入して利用者がパチンコ機 2 に使用せんとする金額を金額選択ボタン 1 4 を操作して指定すれば、その指定された金額に対応する個

- 23 -

景品玉投入口 1 6 に投入する。すると投入玉の数が景品玉数表示器 1 8 により表示され、確認キー 1 7' を押圧操作することにより投入玉に相当する玉数が記録された玉数カード 1 9 が玉数カード払出口 1 7 から遊技者に払出される。

遊技者はこの払出された玉数カード 1 9 を一般景品や特殊景品 1 3 8 に交換したい場合には玉数カード読み取装置（玉数表示器、特殊景品払出機）5 の玉数カード投入口 4 4 に玉数カード 1 9 を投入する。すると投入された玉数カード 1 9 が玉数カード識別機 4 5 により識別され、その玉数カード 1 9 に記録されている玉数が読み取られた後、投入された玉数カード 1 9 が玉数カード収納部 4 5' に取込まれて収納される。すると投入された玉数カード 1 9 に記録されている玉数が玉数・金額表示器 4 1 により表示される。遊技者はその表示された玉数で交換可能な特殊景品 1 3 8 の数の範囲内で希望する特殊景品数を特殊景品数入力キー 4 2 から入力する。そして遊技者が確認キー 4 3 を押圧操作すれば、特殊景品払出装置 4 6' が作

- 25 -

数の遊技玉がパチンコ機 2 に払出されて、遊技領域に弾発発射する弾球遊技が可能となる。そして、玉貸カード投入口 1 2 から投入された玉貸カード 1 3 4 の残額から前記金額選択ボタン 1 4 によって選択された金額を減算した残金額が残金額表示器 1 3 により表示される。一方、弾球遊技に伴って遊技領域に打込まれたパチンコ玉が入賞する等の所定の遊技状態が発生すればその所定の遊技状態の発生に基づいて所定の遊技価値が遊技者に付与されるのであり、その付与される遊技価値に相当する得点がクレジット表示器 1 5 に加算表示される。一方、前記弾球遊技に用いられるパチンコ玉に相当する得点がクレジット表示器 1 5 で表示されている得点から減算されその減算された後の得点がクレジット表示器 1 5 によって表示される。そして、遊技者が図示しない終了ボタンを押圧操作した場合やパチンコ機 2 が打止になった場合には、クレジット表示器 1 5 により表示されている得点に相当する景品玉が遊技者に払出される。遊技者はその払出された景品玉を景品玉計数器 7 の

- 24 -

動して特殊景品 1 3 8 が入力した数だけ特殊景品払出口 4 6 から遊技者に払出される。そして払出処理が終了した後にレシートがレシート発行装置 4 9 により印刷されてレシート発行口 4 8 から遊技者に発行される。

一方、玉数カード 1 9 と一般景品とを景品交換する場合には、玉数カード 1 9 を玉数カード投入口 4 4 に投入した後その投入カードに記録されている玉数が玉数・金額表示器 4 1 により表示され、その表示内容を見て遊技場の従業員が直接一般景品を遊技者に与えるか、確認キー 4 3 を押圧操作してレシートを発行した後に一般景品を遊技者に与える。図中 2 0 は処理器番号表示部、2 1 は販売中表示器、2 2 は販売中止表示器である。また 7 7 は制御部であり、玉数カード読み取装置（玉数表示器、特殊景品払出機）5 を制御するためのマイクロコンピュータ等から構成されている。

この玉数カード読み取装置（玉数表示器、特殊景品払出機）5 から払出された特殊景品を現金に交換したい場合には、利用者が特殊景品 1 3 8 を景

- 26 -

品交換所 102 にまで持参し、景品交換所 102 に設置されている特殊景品交換装置（特殊景品精算機）8 の特殊景品投入口 52 から特殊景品 138 を投入する。すると、投入された特殊景品 138 に見合った金額が金額表示器 59 により表示され、利用者が確認キー 58 を押圧操作すれば、紙幣払出装置 51' が作動して紙幣が紙幣払出口 50 から利用者に払出されるとともに、必要に応じて硬貨払出装置 54' が作動して硬貨払出口 54 から硬貨が利用者に払出される。その払出される紙幣や硬貨からなる貨幣の金額は金額表示器 59 により表示された金額に一致するように制御される。その後レシート発行装置 57 が作動して所定事項が印刷されたレシートがレシート発行口 56 から利用者に発行される。なお図中 77 はマイクロコンピュータ等からなる制御部である。また 20 は処理器番号表示部、21 は販売中表示器、22 は販売中止表示器である。

利用者が玉数カード 19 に記録されている玉数に相当する金額分自己の景品カードを増額更新し

- 27 -

4 により読み取られ、玉数カード収納部 66 に収納される。すると、投入された玉数カード 19 に記録されている玉数が玉数・金額表示器 60 により表示され、利用者が景品更新キー 75 を押圧操作することにより玉数・金額表示器 60 により表示されている玉数に相当する金額分だけ投入された景品カード 136 の残額（残景品金額）が加算更新され、その更新された残額が記録された景品カード 136 が景品カード投入口 67 から利用者に返却される。なお、利用者がいまだに景品カード 136 を作成していない場合には、前述したように景品交換所 102 において利用者の住所、氏名、電話番号等の必要事項を記載してもらい、その後残景品金額が「0」の景品カードを遊技者に発行する。そしてその新たに発行された景品カードに玉数カード 19 に記録されている玉数に相当する金額を加算更新したい場合には、前述と同様にして新たに発行された景品カード 136 を景品カード投入口 67 に挿入して前述と同様の操作を行なえばよい。そして記載してもらった利用者の住所、

- 29 -

てもらいたい場合には、自己の景品カード 136 と玉数カード 19 とを景品交換所 102 に持参し、その景品交換所 102 に設置されている景品処理装置（景品カード処理機）9 の操作手順表示器 63 に従って景品カード 136 を景品カード投入口 67 に投入する。この操作手順表示器 63 は通常時点灯するランプが内蔵されている。景品カード投入口 67 から投入された景品カード 136 は景品カード識別機 68 によりその記録情報が読み取られる。次に利用者が暗証番号を入力キー 71 から入力する。その入力された暗証番号が挿入された景品カード 136 に対応する適正な暗証番号であった場合には投入された景品カード 136 に記録されている残額すなわち残景品金額が残景品金額表示器 61 により表示される。次に操作手順表示器 63 が消灯されてランプ内蔵の操作手順表示器 62 が代わりに点灯され、その点灯された操作手順表示器 62 に従って利用者は自己の玉数カード 19 を玉数カード投入口 64 に投入する。すると投入された玉数カード 19 が玉数カード識別機 6

- 28 -

氏名、電話番号等の必要事項が景品カード発行会社 104 に送信されて会員として登録される。なお、景品カードを新規発行する場合に必要となる利用者の住所、氏名、電話番号等の必要事項の入力も全自動で機械的に行なうようにしてもよい。

次に、利用者が自己の景品カード 136 を使用して景品交換所に備えられている景品カタログを見てそのカタログに掲載されている景品を入手したい場合には、まず自己の景品カード 136 を景品カード投入口 67 に投入する。次に暗証番号を入力キー 71 から入力する。すると投入された景品カード 136 に記録されている残景品金額が残景品金額表示器 61 により表示され、次に景品種類指定キー 72 を押圧操作した後、カタログ等を見て予め決めてある希望の景品番号（景品コード）を入力キー 71 から入力する。するとその入力された景品番号（景品コード）が玉数・金額表示器 60 により表示される。次に景品個数指定キー 73 を押圧操作した後に希望の景品の個数を入力キー 71 から入力する。すると玉数・金額表示器 60

- 30 -

の一部にその入力された個数が表示される。その段階で、投入した景品カードに記録されている残景品金額等が不足する場合などのエラーの場合には、そのエラーの原因が玉数・金額表示器 60 に表示される。エラーでない場合であってかつ利用者が確認キー 74 を押す操作すればレシート 141 (第 3 E 図参照) がレシート発行装置 70 によって印刷されてレシート発行口 69 から利用者に発行される。そして、投入された景品カード 136 を、景品交換に用いられた金額を減算した新たな残景品金額に更新して景品カード投入口 67 から利用者に返却する。前述した入力キー 71 から入力された景品番号 (景品コード) と景品個数ならびに投入された景品カードのカードナンバー等が前述したように景品カード発行会社 104 の集中管理コンピュータ 112 に伝送されるのであり、集中管理コンピュータ 112 では伝送されてきた景品カード 136 のカード番号からその景品カード 136 の所持者の住所、氏名、電話番号等の必要事項を割出し、その利用者の住所に近い加盟店

- 31 -

号であるカード番号、玉数情報、玉数カード 19 のセキュリティを向上させるためのセキュリティコード等が記録されている。

第 3 B 図は、玉貸カードに記録されている記録情報を説明するための説明図である。

玉貸カード 134 の磁気スライプ 135 には、玉貸カード 134 の番号であるカード番号、残額情報、カードセキュリティを向上させるためのセキュリティコード等が記録されている。

第 3 C 図は、景品カードに記録されている記録情報を説明するための説明図である。

景品カード 136 の磁気スライプ 137 には、この景品カード 136 の使用有効期限を特定するためのカード有効期限、景品カード 136 の番号であるカード番号、残額 (残景品金額)、景品カード 136 のセキュリティを向上させるためのセキュリティコード等が記録されている。

第 3 D 図は、特殊景品を示す正面図である。

特殊景品 138 はブレート状の樹脂の一部に磁気スライプ 139 が形成された磁気カードで構

- 33 -

の加盟店用管理コンピュータに景品番号 (景品コード) とその個数情報ならびに景品の送り先である利用者の住所、氏名、電話番号等が送信される。そして後日その加盟店から利用者の希望する景品が希望する個数だけ利用者に配達される。この景品処理装置 (景品カード処理機) 9 により、遊技者が前記遊技機により遊技を行なって獲得した獲得有価値を特定可能な情報を前記会員用記録媒体に記録して遊技者に付与する価値記録手段が構成されている。なお、景品処理装置 (景品カード処理機) 9 と特殊景品交換装置 (特殊景品精算機) 8 どを遊技場 100, 101 内に設けて、前述した景品交換所 102 の機能を遊技場 100, 101 に持たせてもよい。

第 3 A 図は玉数カード 19 に記録されている記録情報を説明するための説明図である。玉数カード 19 の磁気スライプ 133 には、図示するように、その玉数カード 19 が発行された遊技場を特定できる遊技店コード、その玉数カード 19 が発行されたカード発行年月日、玉数カード 19 の番

- 32 -

成されている。この磁気スライプ 139 には、この特殊景品 138 が発行された番号である発行番号、この特殊景品 138 のセキュリティを向上させるためのセキュリティコード等が記録されている。さらに、特殊景品 138 の一部には、その特殊景品 138 の景品価値に見合った値打を有する金のチップ 140 が組込まれている。

第 3 E 図は、景品交換所 102 でカタログを利用して景品を選択して景品交換を行なった場合に景品処理装置 (景品カード処理器) 9 から発行されたレシートであり、図示したような情報が印刷されている。第 3 A 図～第 3 C 図に示した各種カードおよび第 3 D 図に示した特殊景品は磁気カードに限らず、IC カード、光カード (光ディスクメモリを利用したもの)、感熱式カード、バーコードを付したカード、パンチ孔を穿設したカード等、種々のもので構成してもよい。また、第 3 A 図～第 3 C 図に示した各種カードには玉数情報や残額情報を記録し更新するようにしたが、玉数情報や残額情報をカードに記録することなく、カ

- 34 -

ド番号を元にしてホール用管理コンピュータ6や集中管理コンピュータ111, 112において玉数情報や残額情報を更新するようにしてもよい。

第4図は、景品カード発行会社に設置されている集中管理コンピュータおよびその集中管理コンピュータに接続される各種機器を説明するための説明図である。

集中管理コンピュータ112には補助コンピュータ112'が接続されており、この補助コンピュータ112'にはCRTディスプレイ142とキーボード144とプリンタ143とが接続されている。補助コンピュータ112'の電源スイッチ160に所定のオペレータが所持するキーを差込み操作することにより、キーボード144が能動化される。キーボード144には、遊技場(ホール)別のデータを集計するためのホール別集計キー151、加盟店別の売上を集計するための店別売上キー152、景品カード別のデータを集計するためのカード別集計キー153、特殊景品の入出庫データを集計するための景品入出庫キー1

- 35 -

理される玉数カード19の遊技店コードによって、景品カード発行会社104が請求する請求先の遊技場が特定される。なお、景品処理装置9において特定の遊技店コード以外の玉数カード19を受け付けないようにしたうえで、景品処理装置9の処理器番号を元に請求先の遊技場を特定するようにしてもよい。「特殊景品出庫額」は、景品カード発行会社104からその遊技場に出荷された特殊景品138の金額を意味する。「玉貸カード売上額」は、玉貸カード販売機4(第1図、第2図参照)を利用して景品カード136により玉貸カード134が販売されたその玉貸カード134の売上額を意味する。そして図示一番左の列は日付を示しており、たとえば10月1日のBホールでの景品カード更新額は3,481,926円であり、特殊景品出庫額は7,000,000円であり、玉貸カード売上額は2,756,000円である。なお10月2日、10月30日のBホールおよび10月3日、10月31日のCホールのデータがそれぞれ「0」になっているが、これは1

- 37 -

54、事故カードデータを集計するための事故キー155、プリンタ143により所定のデータを印字させるための印字キー156が設けられている。前記各種のキー151～155を操作することにより、前述したそれぞれのデータが集計されてその集計結果がCRTディスプレイ142により表示される(第5図～第7図参照)。さらにキーボード144には、数字等を入力するためのテンキー157、文字情報を入力するための文字情報入力キー159やその他の機能キー158が設けられている。

第5図は、景品カード発行会社の集中管理コンピュータによって行なわれたホール別集計情報を示す図である。

第1行目のB、Cは遊技場(ホール)の名称を示しており、2行目は集計されたデータの種類を明示したものである。すなわち、「景品カード更新額」は、景品処理装置(景品カード処理器)9(第1図、第2図参照)によって増額更新された景品カードの更新額を意味し、増額更新の際に処

- 36 -

0月2日、10月30日はBホールが休みの日であり、10月3日、10月31日はCホールが休みの日であり、営業を行なわなかったためである。さらに、景品カード更新額、特殊景品出庫額、玉貸カード売上額の10月1日から10月31日までの1ヶ月間の合計額がそれぞれ表示されるとともに、景品カード発行会社104から各遊技場に代金を請求する請求額が算出されて表示される。たとえばBホールの場合では、景品カード更新額に対する1ヶ月の請求額は合計額と同じ87,649,307円となり、特殊景品出庫額は合計額に対し一定の手数料を上乗せした207,302,500円が請求額となり、さらに玉貸カード売上額に対しては合計額に対し手数料が差引かれた71,441,470円が景品カード発行会社104からBホール100に支払われることになる。それらの請求額の差額が一番下の行に223,510,337円と示されている。

第6A図は、景品カード発行会社の集中管理コンピュータによって集計されたカード別集計データ

- 38 -

タを示す図である。

図中、一番上の行には景品カードのカード番号が示されており、その下の行には前の月の景品カードの景品残金額が示されている。そして、10月1日から10月31日までの1日ごとの景品カードの増額更新額と使用金額が示されている。たとえば10月1日にはカード番号12001の景品カードが5,300円増額更新されるとともに15,000円使用されていることがわかる。そして、10月1日から10月31日までの1ヶ月の増額更新額と使用金額との合計が算出されて示され、前月残金額と増額更新金額の合計との和から使用金額合計を減算した金額は10月31日現在における景品カードの残額30,400円となる。

第6B図は、加盟店別売上データを示す図である。

図中一番上の行は各加盟店の店名が示されており、その下の数字は、10月1日から10月31日までの各加盟店別の景品カード136を使用し

- 39 -

図の残高を示す金額の前に*印が付されて表示される。一方、第6C図に示すカード番号12004のカードは残高が改竄されたカードであり、第6A図に示すカード番号12004の欄のデータを見てもわかるように、10月1日現在で景品残金額が「0」になっているにもかかわらず10月1日に36,000円使用されているのであり、この10月1日時点で残高が改竄されたことがわかる。ゆえに、その10月1日時点で事故カードとして登録されるのである。この残高が改竄された事故カードに対しては、第6A図に示すように、残高の数字の前に☆印が付されて表示される。第6C図に示した事故カード情報は、各遊技場100,101や景品交換所102や加盟店106等に送信され、それらの場所で事故カードが使用されれば即座に警報を鳴らす等して事故処理が行なえるようにする。

第7図は、特殊景品の入出庫データを表わす図である。特殊景品138は2,000円と500円と100円の3種類があり、景品入庫数とは各

- 41 -

ての売上金額が示されている。そしてその1ヶ月の売上合計が算出されて示され、その売上合計の下には各加盟店が景品カード発行会社104に支払う手数料が示されている。そして売上合計からその手数料を差引いた残りの金額は景品カード発行会社104から各加盟店に支払われる振込み金額であり、たとえばD加盟店の場合には2,091,999円となる。

第6C図は、事故カードデータの集計を示す図である。

図中一番左の列には事故カードのカード番号が示されており、紛失カードの場合には紛失した者からの申告があってその後申告されたカードのカード番号が登録される。たとえば第6A図のカード番号12003のカードの場合には、10月1日に6,500円増額更新されたのを最後に全く使用や増額更新されていない。そしてこのカード番号12003の所持者から紛失した旨の申告が1990年10月2日にあったためにその申告カードを事故カードとして登録するとともに第6A

- 40 -

景品交換所102や銀行108から景品カード発行会社104に返却されてきた特殊景品138の数を特殊景品138の種類ごとに示したものである。一方、景品出庫数と景品カード発行会社104から各遊技場100,101に出荷された特殊景品138の数をそれぞれの特殊景品138の種類ごとに示したものである。そして10月1日から10月31日までの特殊景品138の出庫数の合計が各遊技場ごとにかつ各特殊景品の種類ごとに算出されて示されている。さらに、各遊技場ごとに1ヶ月間の間に出荷された特殊景品138の合計金額が示され、その合計金額に手数料を上乗せした金額が各遊技場に請求する請求額となる。たとえばBホールにおいては、10月1日から10月31日までの1ヶ月間の特殊景品138の請求額として207,302,500円となる。図示右欄の景品在庫数は、10月1日から10月31日までの景品カード発行会社104の景品在庫数を特殊景品の種類ごとに示したものである。

第8図は、玉賃カード販売会社103の集中管

- 42 -

理コンピュータ 111 によって集計された玉貸カードのホール別売上データを示す図である。

図中、「カード売上額」とは、各遊技場 100, 101 の玉貸カード販売機 4 によって販売された玉貸カード 134 の売上額を意味し、10月1日から10月31日までの1ヶ月間の売上額が示されている。「カード玉貸額」は、玉貸カード 134 を使用してカード処理機（カード玉貸機）3 によって貸出された玉貸額を意味し、10月1日から10月31日までの1ヶ月間の玉貸額が示されている。「差額」は、カード売上額からカード玉貸額を減算した金額を意味し、10月1日から10月31日までの1ヶ月間の金額が示されている。「カード負担額」とは、ある遊技場が玉貸カード 134 の製造代金を負担する金額を意味し、たとえば B ホールでは1ヶ月間のカード負担額として 1,263,517 円となる。このカード負担額の算出方法は、すべての遊技場および玉貸カード販売店によって販売された玉貸カードの販売枚数を集中管理コンピュータ 111 で算出し、その販

- 43 -

第2図は、遊技場および景品交換所の要部を示す構成図である。

第3A図ないし第3C図は、各種カードに記録される情報を説明するための説明図である。

第3D図は特殊景品を示す正面図である。

第3E図はレシートの印字内容を示す正面図である。

第4図は、カード発行会社の集中管理コンピュータおよびその集中管理コンピュータに接続されている各種機器を示す説明図である。

第5図は、景品カード発行会社の管理コンピュータによって集計されたホール別集計データを示す図である。

第6A図は、景品カード発行会社の集中管理コンピュータによって集計されたカード別集計データを示す図である。

第6B図は、景品カード発行会社の集中管理コンピュータによって集計された加盟店別売上データを示す図である。

第6C図は、景品カード発行会社の集中管理コ

売枚数合計に玉貸カード 1 枚当たりの製造代金を掛け 1 ヶ月間におけるカード製造代金の合計をまず算出する。そして、ある遊技場の 1 ヶ月のカード玉貸額をすべての遊技場におけるカード玉貸額の合計で除した値を算出し、その値がその遊技場におけるカード負担割合となる。そしてそのカード負担割合に前述したカード製造代金の合計を掛けた値がその遊技場における 1 ヶ月間のカード負担額となる。

【発明の効果】

本発明は、遊技者が自己の獲得有価価値を使用して景品交換を行なう際に、会員用記録媒体取扱店が取扱っている比較的多くの商品やサービス等の景品の中から遊技者が選択入手でき、しかも、遊技場においては景品の陳列場所を必ずしも広げる必要がないため、遊技場の経営面での負担を極力抑えることができる。

4. 図面の簡単な説明

第1図は、本発明に係る遊技用管理設備装置の一例の概略を示すシステムブロック図である。

- 44 -

ンピュータによって集計された事故カードの集計データを示す図である。

第7図は、景品カード発行会社の集中管理コンピュータによって集計された特殊景品の入出庫データを示す図である。

第8図は、玉貸カード発行会社の集中管理コンピュータによって集計されたホール別売上データを示す図である。

図中、104 は景品カード発行会社、112 は集中管理コンピュータ、103 は玉貸カード発行会社、111 は集中管理コンピュータ、100, 101 は遊技場、102 は景品交換所、108 は銀行、6 はホール用管理コンピュータ、7 は玉計数機、2 は遊技機の一例のパチンコ機、3 はカード処理機（カード玉貸機）、4 は玉貸カード販売機、5 は玉数カード読取装置（玉数表示器、特殊景品払出機）、65 は玉数カード読取装置、9 は景品処理装置（景品カード処理器）、8 は特殊景品交換装置（特殊景品精算機）、105, 106, 107 は加盟店、122 は玉貸カード販売機、1

- 46 -

9は玉数カード、134は玉貸カード、136は
会員用記録媒体の一例の景品カード、138は特
殊景品である。

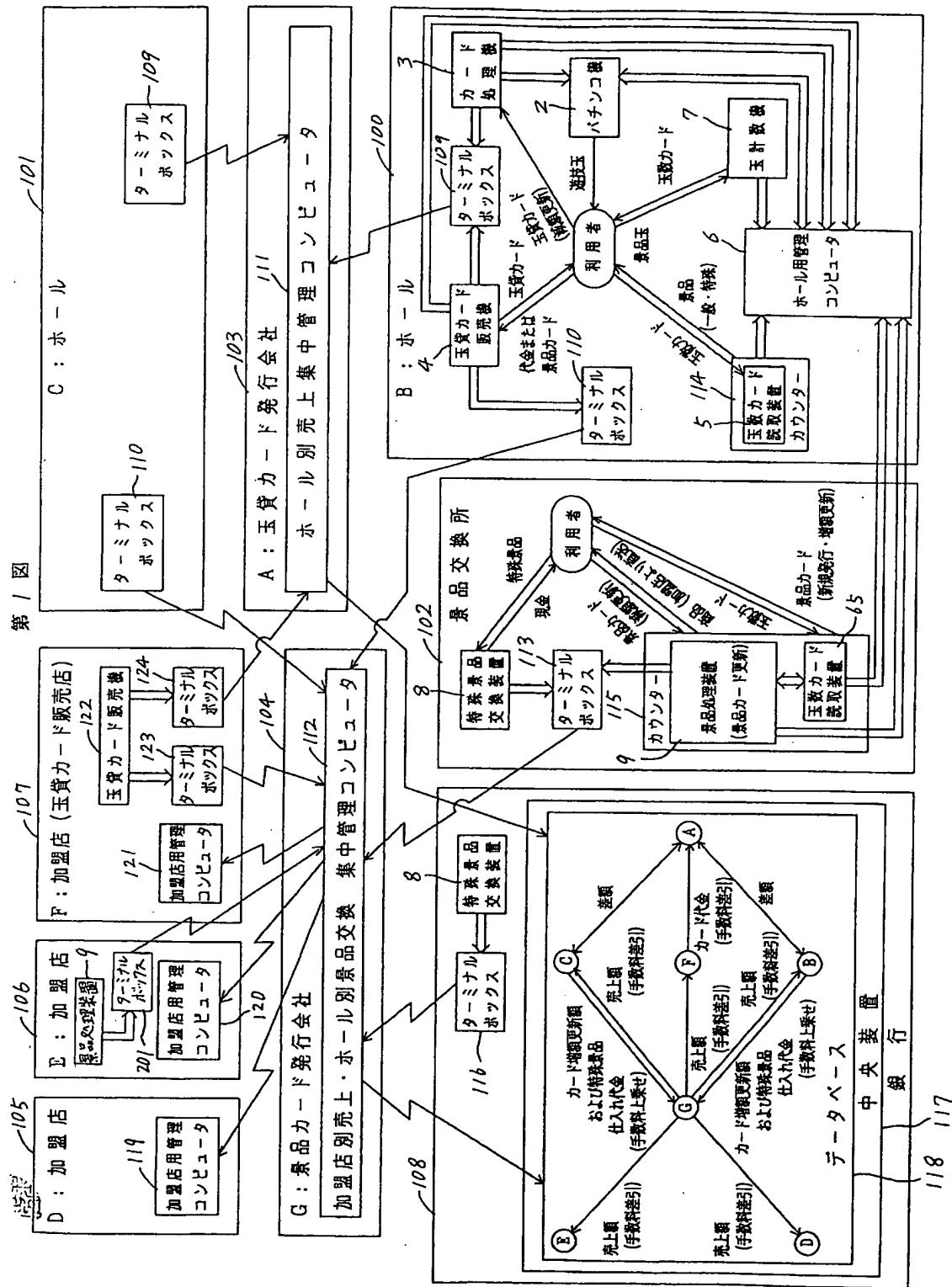
特許出願人 株式会社 三共

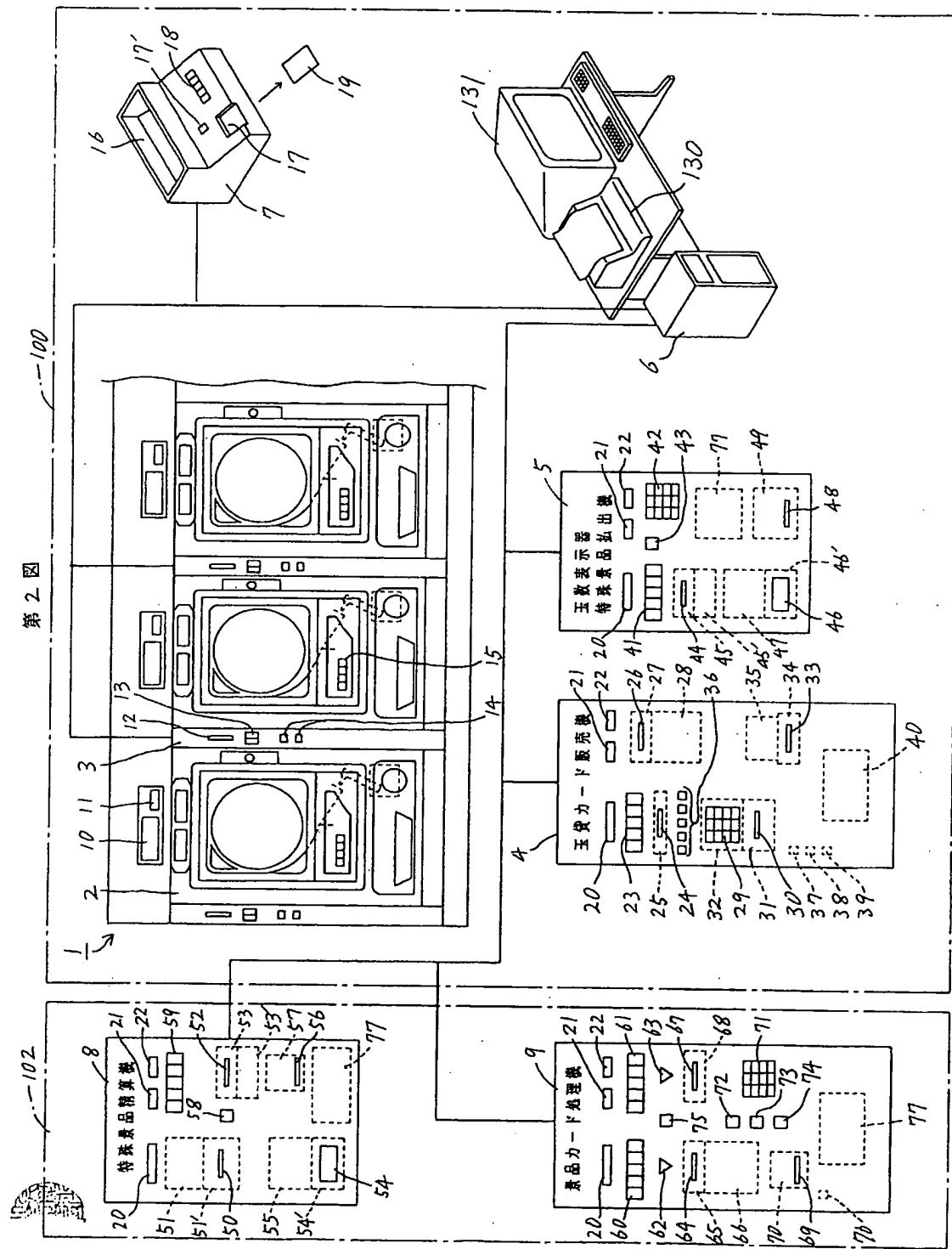
代 理 人 弁理士 深 見 久 郎

(ほか2名)



- 47 -





140 第3D図 138

G 株式会社	
発行	セキュリティーコード
NO.	

139

G 株式会社	
発行	セキュリティーコード
NO.	

141

景品力ード発行会社	
発行日時	90年11月13日 PM3:08
取扱景品力ード処理機	NO. 86
景品力ード NO.	12001
景品力ード所持者	○○○○
景品名	景品箇数
1. ×××	3
2. △△△	1
発行予定日	90年11月16日
連絡先	××× - △△△△

第3A図

133

玉数力ード	
○○	ホール
遊店	カード発行
コード	年月日
カード	NO.
玉数	セキュリティーコード

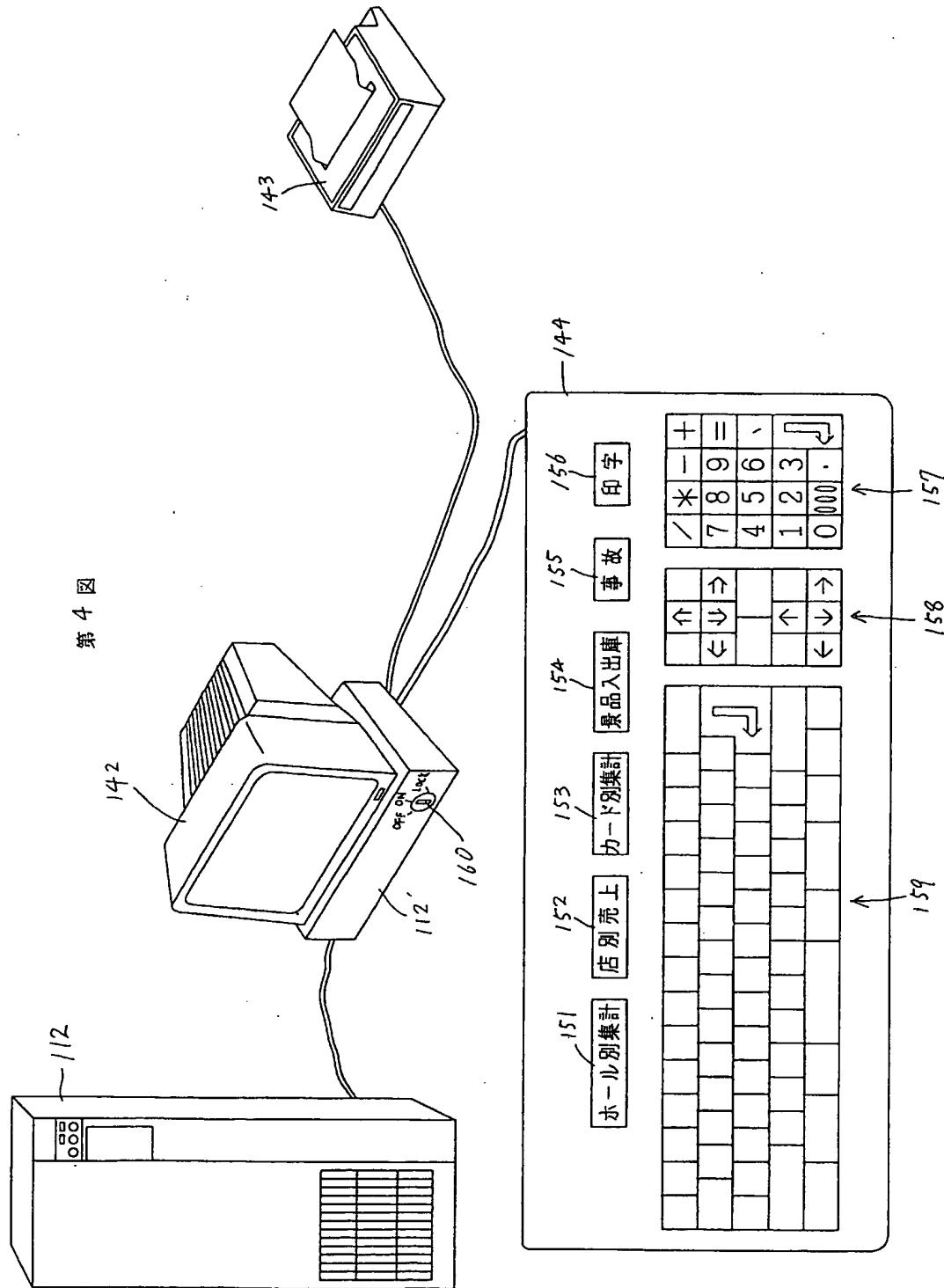
134

玉貸力ード	
¥10,000	
A 株式会社	
カード	残額
NO.	セキュリティーコード

136

景品力ード	
G 株式会社	
カード	有效期
NO.	残額
セキュリティーコード	

第4圖



第5図
水一ル別集計

ホール名	B			C			
	月 日	景品力一ド更新額	特殊景品出庫額	玉質力一ド売上額	景品力一ド更新額	特殊景品出庫額	玉質力一ド売上額
10/1	3,481,926	7,000,000	2,756,000	4,762,019	9,500,000	3,437,000	
10/2	0	0	0	5,246,821	10,950,000	4,215,000	
10/3	3,626,432	8,450,000	3,112,000	0	0	0	
10/30	0	0	0	4,892,406	12,300,000	4,728,000	
10/31	3,556,740	8,450,000	2,964,000	0	0	0	
合計額	87,649,307	205,250,000	73,651,000	124,750,328	255,800,000	97,981,000	
請求額	87,649,307	207,302,500	71,441,470	124,750,328	258,358,000	95,041,570	
差額		223,510,337			288,066,758		

第6A図
力ード別集計(力ードNO. 12001~12020)

力ードNO.	12001	12002	12003	12004
前月残	13,200	78,000	32,000	0
月 日	更新 使 用	更 新 使 用	更 新 使 用	更 新 使 用
10/1	5,300 15,000	15,000 10,000	6,500 0	0 16,000
10/2	12,000 0	23,500 5,000	0 0	0 0
10/3	0 6,000	8,400 28,600	0 0	0 0
10/30	6,500 5,000	34,600 0	0 0	0 0
10/31	3,000 2,000	13,200 0	0 0	0 0
計	167,200 150,000	357,300 247,200	6,500 0	0 36,000
残高	30,400	188,100	*38,500 ☆-36,000	

第6B図
店別売上(地城コード0120)

月日	店名	D	E	F	P	合計	事故力ード集計		
							力ードNO.	事故発生日	事故の種別
10/1	78,200	45,100	2,336,000	0		3,768,300			
10/2	63,400	0	1,451,000			2,422,800			
10/31	48,000	63,400	1,428,000	0		2,869,000			
売上合計	2,156,700	1,268,300	62,597,000	0		102,634,100			
手数料	64,701	38,049	1,877,910	0		3,078,023			
振込額	2,091,999	1,230,251	60,719,090	0		99,555,077			

第6C図
事故力ード集計

力ードNO.	事故発生日	事故の種別
12003	90.10.2	油失
12004	90.10.1	端高めさん

第7図
入品景出

月日	貿品入庫數			貿品出庫數			貿品在庫數		
	B			C			---		
	500円	100円	2,000円	500円	100円	2,000円	500円	100円	2,000円
10/1	12,427	9,671	43,826	2,500	2,000	10,000	3,500	3,000	10,000
10/2	7,351	5,837	28,724	0	0	4,000	3,500	12,000	0
10/3	6,826	4,952	25,636	3,000	2,500	12,000	0	0	0
10/30	8,638	7,120	27,804	0	0	4,500	4,000	13,000	0
10/31	6,370	5,535	24,399	3,000	2,500	12,000	0	0	0
合計數				75,500	54,500	270,000	94,000	81,000	273,000
合計額				205,250,000			255,800,000		
請求額				207,302,500			258,118,000		

第8図
水一ル別売上

水一ル名	B			C		
	月 日	力一ド売上額	力一ド玉貯額	差 額	力一ド売上額	力一ド玉貯額
10/1	7,532,000	8,729,300	-1,197,300	8,657,000	11,042,500	-2,385,500
10/2	0	0	0	11,204,000	14,596,200	-3,392,200
10/3	10,913,000	10,652,700	290,300	0	0	0
10/30	0	0	0	10,635,000	9,872,900	762,100
10/31	11,003,000	9,104,400	1,898,600	0	0	0
合 計	192,456,000	221,075,200	-31,817,200	237,462,000	285,109,600	-47,647,600
力一ド販額		1,263,517 (0.05054%)		1,607,678 (0.06431%)		
差 額		-30,353,683		-46,039,922		

JP 4. 189384 A
JUL 1992

(54) GAME MANAGEMENT EQUIPMENT DEVICE

(11) 4-189384 (A) (43) 7.7.1992 (19) JP

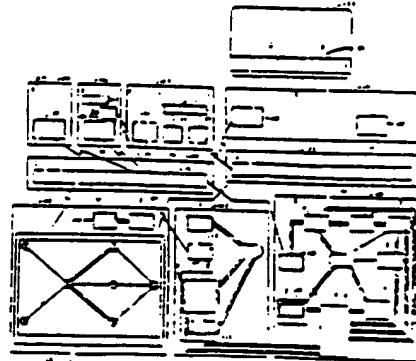
(21) Appl. No. 2-318752 · (22) 22.11.1990

(71) SANKYO K.K. (72) SHOHACHI UGAWA

(51) Int. Cl. A63F7/02, G07F7/08, G07F9/00

PURPOSE: To rationalize the management of a game place by constituting the device so that information which can specify an obtained negotiable value obtained by a player is recorded in a member storage medium issued from a member recording medium issue center, and the player being an owner of its member recording medium can exchange it with a premium in a member recording medium dealing store.

CONSTITUTION: The equipment device is constituted of a member recording medium issue center 104 for issuing a member recording medium 136 to a prescribed member, a game place 100 in which a game machine 2 is installed, a value recording means for recording information which can specify an obtained negotiable value obtained by a fact that a player executes a game by said game machine 2 in the member recording medium 136 and giving it to the player, and a member recording medium dealing store 102 which is sales stores 105, 106 and 107 for selling such sales objects as a commodity and a service, etc., and in which the player uses the obtained negotiable value specified by his own member recording medium 136 and can exchange it with the sales object as a premium. In such a way, at the time of executing the premium exchange by using the obtained negotiable value obtained by the player, the player can select and obtain a desired one from in many kinds of premiums.



2: pin ball machine. 3: card processor. 4: ball lending card vending machine. 5: ball number card reading device. 6: control computer for ball. 7: ball counting machine. 8: special premium exchanging device. 9: premium processing device. 65: ball: number card reading device. 100.B: ball. 101.C: ball. 102: premium exchange piece. 103.A: ball lending card issuing company. 101.G: premium card issuing company. 105.106.107: member store (ball lending card ces eri. 109.110.113.116.123.124.210: terminal box. 108: bank. 111: centralized control computer for sales by ball. 112: centralized control computer for sales by, member store and premium card issuing company. 113: control computer for member store. 114: data base. 119.120.21: control computer for member store. 136: premium card.

BEST AVAILABLE COPY